

部門長からのご挨拶

2025 年度 電子・情報・システム部門長 馬場 賢二（東芝）

このたび、電子・情報・システム部門（C 部門）の部門長を拝命いたしました。C 部門は、電子材料、デバイス、回路、通信、医用・生体工学から情報、システム、制御に至るまで、幅広い研究領域を網羅しており、横断的な技術分野を担っていることが大きな特徴です。

各分野においては、基礎から応用まで幅広く取り組むとともに、CPS（サイバーフィジカルシステム）、カーボンニュートラル、サイバーセキュリティといった社会的メガトレンドをテーマに据えた検討にも取り組んでまいります。



技術委員会では、要素技術・基盤技術の探究を進めるとともに、学際的な活動の活性化を目指して発足した「分野横断型新システム創成技術委員会」においては、学術と事業の境界面に着目し、技術の融合やシステム連携による新たな応用分野の創出を目指していきたいと考えています。

C 部門では、研究成果を発表・議論する場として、研究会、部門大会、論文誌を提供しており、優れた発表には顕彰を行っております。特に部門大会では、初めて学会発表を行う学生や国際会議での発表を控えた学生を対象としたセッションや、学生向けセミナーの充実を図ってきました。産学の研究者・技術者が自由闊達に議論できる魅力的な場づくりに向けて、今後もさまざまな施策を講じてまいります。また、こうした場で得られた成果を論文としてまとめる段階においては、従来から部門として目指してきた「研究を進めるために有益で示唆に富む査読プロセスの充実と迅速化」に引き続き注力してまいります。

デジタルエコノミー時代において技術革新と持続可能な発展を目指すうえで、私たちは重要な役割を担っていると考えています。AI, IoT, ビッグデータの活用が進む中、これらの技術を新たな R&D の視点から議論・検討することがますます重要になっています。そのためには、研究会や部門大会などの場において、自身の専門領域を深めると同時に、専門外分野にも積極的に関心を持ち、議論を深めることで新たな気づきを得ることが重要です。こうした気づきが、イノベティブな研究テーマへとつながることを期待しています。

このような活性化を促進するため、今後も協創の場の充実に努めてまいります。会員の皆様には、ぜひ積極的にご参集いただき、議論を深めていただければ幸いです。

以上のように、C 部門では研究の推進、知識の共有、会員サービスの向上を通じて、電子・情報・システム分野における科学技術の発展に貢献していく所存です。皆様のご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。